

第 19 号様式(第 35 条関係)

不 動 産 り 災 申 告 書

大垣消防組合 消防署長

提出年月日 年 月 日

申告者 住 所
氏 名
生年月日 年 月 日 (歳)
電話番号

1	り 災 物 件 の 所 在 地		り 災 物 件 と 申 告 者 と の 関 係			
			所 有 者 ・ 管 理 者 ・ 占 有 者			
2	建 築 年 月	購 入 年 月	建 築 又 は 購 入 金 額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	年 月	3.3 m ² (1 坪)	総金額		
			当たりの金額			
取 得 後 の 経 過						
3	年 月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額		
	年 月					
	年 月	増築の概要		増築面積	増築に要した金額	
	年 月			m ²		
り 災 前 の 建 物 詳 細						
4	建物用途	構 造	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
						m ²
建物のり災状況						
5	り 災 の 別		り 災 箇 所		り 災 面 積	
	焼 消 爆				m ²	
建物以外 (へい・庭木など) のり災状況						
6	り 災 物 件 名	り 災 の 別	数量又は面積	経 過 年 数	時価による 損害見積額	
		焼 消 爆		年		
		焼 消 爆		年		
		焼 消 爆		年		
火 災 保 険 の 契 約						
7	契約会社名		契約年月日	保険金額		

記 載 要 領

(1の欄について)

り災物件と申告者との関係欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄について)

各欄の記入にあたって、それが推定によるものか、記録（帳簿、契約書等）によって明らかなものか、記憶に基づくものか、いずれかによってあてはまるものを○で囲んでください。総金額とは、り災した建物の総計金額のことです。

(3の欄について)

建物を取得してからり災するまでの間に、修繕又は改築した箇所を具体的に書いてください。

(4の欄について)

建物用途の欄は住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用されている用途を書いてください。坪を平方メートルであらわす場合は3.3倍してください。

(5の欄について)

り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。なお、焼、消、爆の意味は次のとおりです。

- (1) 焼 燃えたもの、熱で侵されたもの、煙で汚れたものなど。
- (2) 消 消火するために壊れたもの、ぬれたもの、汚れたもの、運び出すときに落して壊れたもの、避難するときに壊したものなど。
- (3) 爆 爆発により壊れたものなど。

(6の欄について)

- 1 り災物件の欄は、へいの類、庭木の類、看板など、り災した物を記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。なお、焼、消、爆の意味は、5の欄と同様です。

[備 考]

- (1) この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- (2) この申告書は、建物1棟について1枚を使用してください。